

昭和電工株式会社東長原事業所 CSRサイトレポート2020



高純度溶剤製造新プラント

トップメッセージ

日頃より昭和電工(株)東長原事業所の事業活動にご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。
当社グループは、「安全」と「コンプライアンス」を基盤に、優れた個性派製品を生み出すことを通じて、豊かさを持続性が調和した社会の創造に貢献する「社会貢献企業」の実現を目指し活動しております。

東長原事業所においても、地域の皆様やお客様をはじめとする全てのステークホルダーの皆様から信頼され、親しまれる事業所を目指して、社会の問題解決に役立つ製品・サービスを提供すると共に、温室効果ガスの排出削減やクリーンエネルギー活用、資源の再生利用など様々な取り組みを進めています。

また、小学校へのお出前授業や工場見学など各種イベントを通じて地域の皆様との関わりを大切にすると共に、献血運動やアルミ缶リサイクルを通じたボランティア活動などにも精力的に取り組んでいます。

この「東長原事業所CSRサイトレポート2020」は、2019年から2020年上期までのCSRに関わる取り組みをまとめたものです。

皆様に当サイトレポートをご一読頂き、率直なご意見やご感想をお寄せ頂ければ幸甚に存じます。



東長原事業所長 窪田 浩二

トピックス

■高純度溶剤製造新プラント竣工！

2019年11月、高純度溶剤を製造する新プラントが竣工し、稼働を開始しました。

2018年10月に新プラントCCR(中央制御室)建設予定地に建てられていた旧実験棟建屋の取り壊し工事とプラント建設予定地の造成を開始し、2019年2月に本工事が始まりました。

工事は全期間において無事故無災害にて完了し、同年11月に行われた竣工式には会津若松市副市長をはじめとする行政関係者、近隣地区の役員の皆様、建設工事関係者、社内関係部署従業員が参列して今後の安全運転を祈念しました。また、同日にプラント見学会と竣工記念祝賀会も開催しました。

東長原事業所において、ゼロからの新プラント建設は約40年ぶりとなります。従業員一同新たな気持ちで、今後も安全安定運転に注力して地域社会の発展に貢献していきます。



竣工式の様子



祝賀会での記念撮影



高純度溶剤製造新プラント全景

安全 の取り組み

■目標！休業災害・不休災害ゼロ！

■安全衛生方針

東長原事業所 安全衛生方針

昭和電工株式会社東長原事業所は、従業員、協力企業従業員、その他の関係者全ての安全と健康の確保が企業活動の基盤であるとの認識のもと、安全、健康で快適な職場を実現するため、次のとおり安全衛生方針を定める。

また、この方針の実現のため、従業員、協力企業従業員、その他の関係者全ての協力を求め、事業所の安全衛生活動を推し進めていくものとする。

基本方針

1. 安全最優先を徹底し、事故・災害ゼロを継続する。
2. 働く環境を改善・維持し、業務上疾病ゼロを継続する。
3. 全員参加による安全衛生活動を推進する。
4. 相互注意の精神を大事にし、職場の仲間を事故・災害から守る。
5. 従業員一人ひとりが心身共に健康で生き活きとした職場環境の実現を図る。

■東長原事業所 従業員・協力企業の災害発生状況

2018年は、湯野上発電所の工事作業において協力企業従業員の熱中症による休業災害が1件発生しましたが、熱中症予防の為に新たな仕組みを創り、その運用を進めた事により、2019年は無災害を達成することができました。今後も無災害を継続するため、従業員一丸となって安全活動に取り組みます。

労働災害発生状況



■最新データ集計期間：2018年12月16日～2019年12月15日

■全国安全週間の取り組み

安全に対する意識と職場の安全活動をより一層向上させる取り組みの1つとして、東長原事業所に立地する企業11社と協同で安全ピラの配布を毎年全国安全週間に併せ実施しています。

2020年の安全スローガンは「エイジーフレンドリー職場へ！みんなで改善リスク低減」です。

高齢労働者も安全に働ける職場環境作りの実現に向け、「自職場の通路において段差で躓くリスクが高い場所がないか」確認し、改善に取り組んでいます。

令和2年
全国安全週間
本週：7月1日～7月7日

エイジーフレンドリー職場へ！
みんなで改善 リスクの低減

※「エイジーフレンドリー」とは「高齢者の福祉を考慮し、」を意味する言葉

従業員間で働く喜びを「安全」に繋ぎたい

全国安全週間は、安全に対する意識と職場の安全活動をより一層の向上に努めたいと考えています。

60歳以上の高齢者は約10年間で1.9倍に増加しています。

令和20年の労働災害の死者数は前年より下がる見込みですが、60歳以上の死者数は増加傾向であり、「高齢労働者が安全に働く職場環境作りが」これまで以上に社会的課題になっています。



安全ピラ配りの様子

環境負荷削減 の取り組み

■ 社会・環境との調和

■ 環境方針

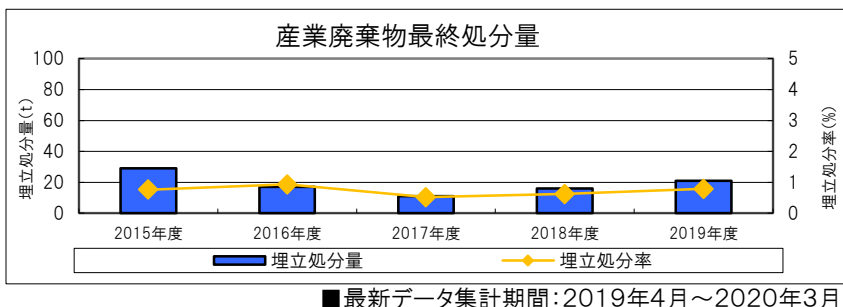
社会・環境との調和

行動指針

1. 川崎事業所および東長原事業所は、市民の一員としての自覚をもち自然と地域との共生をめざすとともに、生物多様性および生態系の保護に努める。
2. 化学製品の設計から製造、物流、使用、廃棄・リサイクルまでの段階で廃棄物や環境負荷の削減、省資源、省エネルギー、持続可能な資源の利用等環境保全に配慮した活動に努める。
3. 川崎事業所及び東長原事業所の活動が環境に及ぼす影響を認識し、継続的な改善と汚染の予防、気候変動への適応に努める。
4. 環境に関する法規制およびその他の要求事項を遵守するため、自主管理基準を設定し、環境の保全に努める。
5. 具体的な目的、目標を明確にして環境管理活動を推進し、状況の変化を反映させるべく定期的に見直しをする。

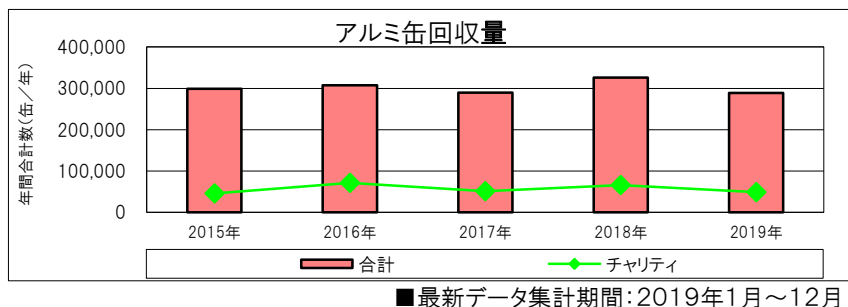
■ ゼロ・エミッションの取り組み

当事業所は、ゼロ・エミッション(最終埋立処分量が産廃発生量の1%以下)の取り組みを行っています。2019年度も、ゼロ・エミッションを達成することができました。



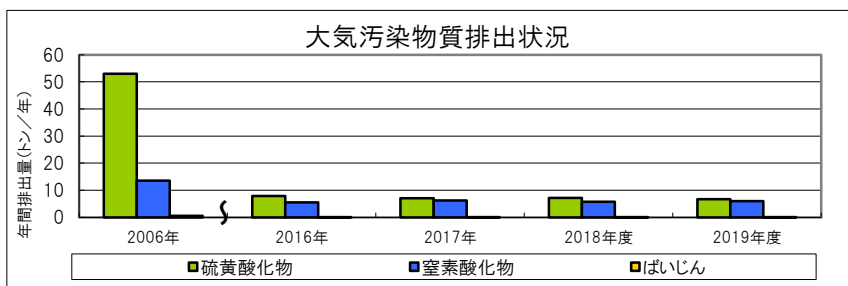
■ アルミ缶リサイクル活動

アルミ缶をリサイクルすると、原料から新たに地金を製造する際と比較して、97%ものエネルギーを削減できます。当活動では、回収収益金の寄付を目的としたチャリティー参加者を増やす取り組みをしています。収益金は地域の福祉団体等へ寄付されます。



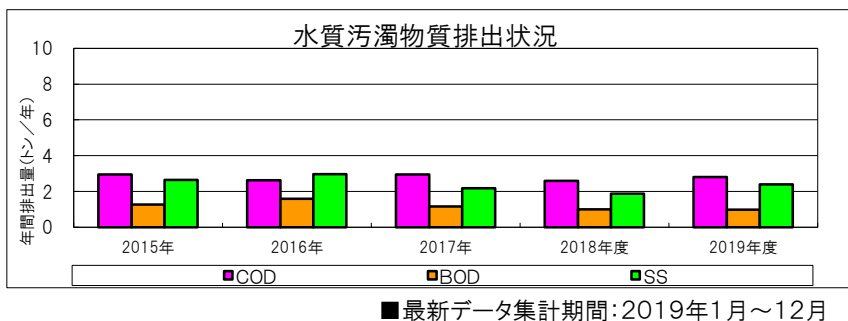
■ 大気汚染物質排出状況

2006年末よりボイラーの燃料を、硫黄分の少ないA重油に変更し、硫黄酸化物(SOx)の排出量を大幅に削減することが出来ました。また、窒素酸化物及びばいじんを含め、排出濃度は法定基準を大幅に下回っています。



■ 水質汚濁物質排出状況

製造工程で発生する廃液は専門業者に廃棄物処理委託をしているため、河川に放流する排水は、主に工程で使用する冷却水や洗浄水となります。水質汚濁物質の排出総量に大きな変化はありませんが、末端排水口での管理濃度に関しては、法定基準より厳しい自主管理値を設定して維持・管理をしています。



防災 の取り組み

■ 事故・災害に備えて

■ 総合防災訓練

事業所内で火災・爆発・有害物質漏洩等の緊急事態が発生した場合に備え、事業所内各企業と共同で総合防災訓練を年2回(春・秋)実施しています。これは、より大きな事故への拡大防止、消防署・警察署・近隣への通報連絡、避難誘導、負傷者救助・応急処置等を確実にを行うことを目的としており、会津若松消防署十文字出張所にもご協力いただいています。

事業所のルールでは被災者を発見した人がいち早く消防署へ通報すると規定されていることから、2019年秋季は被災者発見後の119番通報を発見者の常駐協力企業の従業員が行うようシナリオを変更して行いました。



被害者救出の訓練



非常対策本部



IC課CCRの様子

■ 応急手当推進事業所

当事業所には緊急時に救急車が到着するまでの間、応急の救命措置のできる従業員がいます。また、AED(自動体外式除細動器)を場内企業と共同で設置し、応急手当推進事業所にも認定されています。

2013年からは湯野上発電所にもAEDを設置しています。毎年、春季総合防災訓練終了後、会津若松消防署十文字出張所による普通救命講習を受け、心肺蘇生法とAEDの使用方法について学んでいます。



十文字出張所職員による実技講習



心肺蘇生法実技講習



品質 の取り組み

■ お客様に満足いただける品質の提供

品質方針

お客様の満足する品質の提供

- ・品質に関するお客様の情報を共有し、スピーディーに対応する。
- ・品質目標を定め、品質の維持向上を計画的に展開する。
- ・コンプライアンス意識を高く保ち、ルールを確実に守って業務を遂行する。
- ・コミュニケーションを深め、お客様の要求に適合した製品を提供する。
- ・従業員全員で品質マネジメントシステムを維持し、継続的に改善する。

品質マネジメントシステム

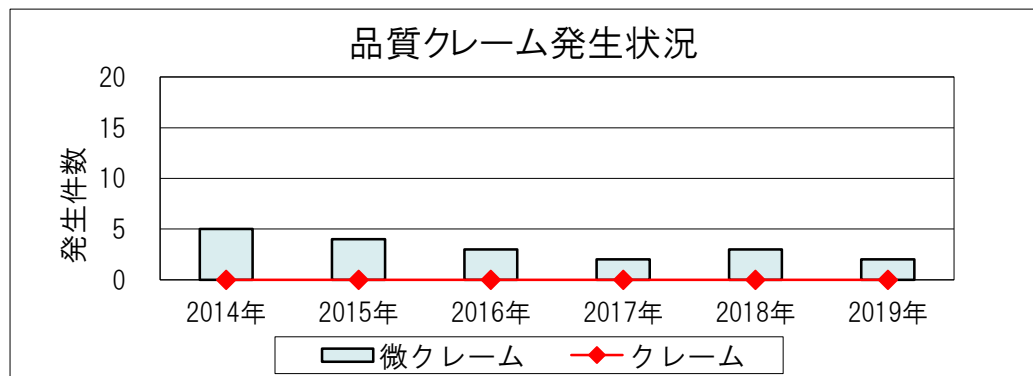
当事業所は1995年7月にISO9001の認証を受けました。お客様に満足していただける製品品質を提供するための仕組みを構築し、継続して改善を行っています。

品質クレーム

様々な品質活動を通じてお客様からのクレームをゼロにするための取り組みを続けています。クレーム(補償金が発生するレベル)についてはゼロを継続し、微クレーム(補償金が発生しないレベル)については是正策を立案し、事業所全体の品質管理のレベルを上げ、クレームの撲滅を目指しています。



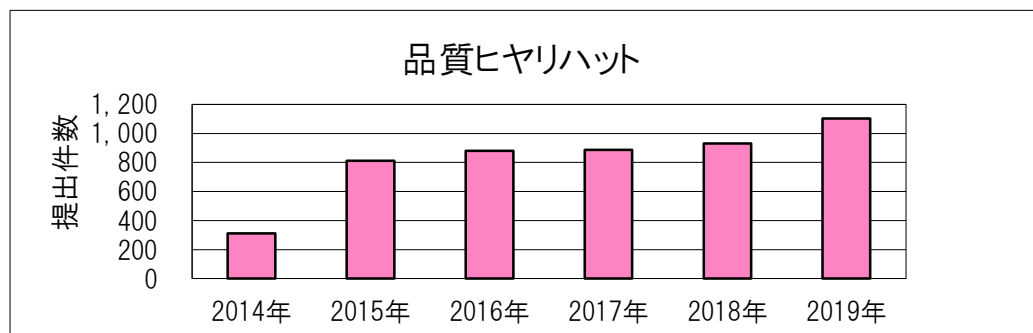
ISO9001認証書



■最新データ集計期間:2019年1月~12月

品質ヒヤリハット

品質活動の一つに品質ヒヤリハット活動があります。従業員全員が参加することにより、品質気づき力を底上げし、品質トラブル撲滅に寄与しています。2011年に活動を開始して以来、品質ヒヤリハットの提出件数は年々増加傾向にあります。



■最新データ集計期間:2019年1月~12月

【用語説明】 ■ヒヤリハット活動:ヒヤリハットは、重大な災害や事故には至らないものの、そのことに直結してもおかしくない一手手前の事例・体験で、「ヒヤリ」としたり「ハッ」としたりすることが由来。これを事前に抽出し、対策を取ることで事故を未然に防ぐ活動。

湯野上発電所 旭ダム

■ クリーンエネルギー

湯野上発電所・旭ダム概要

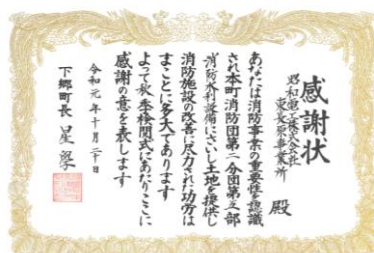
発電所取水フロー位置図

建設:1935年
認可出力:7,980kw
最大使用水量:12.5m³/秒
最大落差:約70m



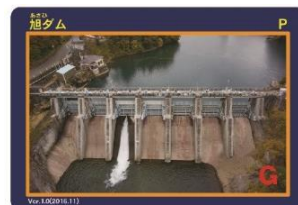
下郷町から感謝状授与

発電グループが管理する戸石川旧水槽周辺の土地の整理に伴い、消防水利の確保が厳しい同地区のために、河川管理者である県の許可を受け戸石川旧水槽を消防水利設備としても利用して頂くことになりました。その御礼として地元下郷町より感謝状を頂きました。



感謝状

【ダムカード】



旭ダムについて広く知っていただくためダムカードを作成し、来場いただいた方に管理所でお配りしています。(写真はカード表面)

地域 との関わり

■ 地域との共生を目指して

■ 地域交流

● 納涼祭

事業所内で働く従業員の慰労と地域の皆様との交流を目的に毎年8月の第一金曜日に開催しています。

従業員や協力企業の方々の手作りの屋台では、カレーやフランクフルトなどを振る舞い、毎回大盛況です。

毎年恒例のミニSL等の子供向けアトラクションや、抽選会などの企画もご来場いただいた方から好評を得ています。2020年は新型コロナウイルス感染症の影響を鑑みて開催は中止とさせていただきました。



■ 公共的配慮

● クリーンデイ

当事業所では、毎年春と秋の2回、事業所周りの清掃活動を行っています。

地域の皆様のご理解があって事業活動が継続できることへの感謝と、気持ちの良い環境の中で仕事をしたいとの思いから、場内企業と協力企業各社、OBの方々と共同で実施しています。



■ 人材育成

● 出前授業

実験を通じて事業所への理解を深め、また化学に興味をもっていただくことを目的に、2010年より小学校等を対象とした出前授業を行っています。

2019年も、地元河東学園小学校5年生へ「ゲルの生成」と「物質の三態」(写真)をテーマとした実験授業を行いました。



■ 地域福祉

● アルミ缶リサイクル活動

当社グループを挙げて取り組んでいるアルミ缶リサイクル活動では、地域の福祉団体や学校からの使用済みアルミ缶の持ち込みも受け付けています。

アルミ缶は1缶1円で買い取り、福祉団体の事業資金としてご活用いただいています。また、従業員等からチャリティーとして集めた収益金で社会福祉団体へ物品の贈呈を行い、地域の福祉に役立ていただいています。今回は社会福祉協議会へ非接触体温計等を贈呈しました。

